生活支援体制整備事業　第2層　『栗原市地域支え合い志波姫地区情報誌』
第２号
2018年９月16日 発行

今こそ地域支え合い!!

住み慣れた地域で元気で暮らしていくために

【編集・発行】　社会福祉法人栗原市社会福祉協議会　志波姫支所　電話 22-2713　FAX 22-2714

この『栗原市地域支え合い情報誌』は、これまで何気なく行われてきた地域の支え合い活動を紹介すると共に地域づくりにつなげていくものです。

生活支援コーディネーターが見つけた

志波姫地区のお宝を紹介！

「和気あいあいと過ごそう」（里区）

孫ちゃん登場でますます賑やかに

栗原市の消費者トラブルについての講話を聞きました。「いつか我が身にならないように」と皆さん、真剣に聞いていました。

講話後、美味しい昼食を囲んで、それぞれの近況報告等をしていました。

さざほざと過ごすことによりお互いに気にかけあう関係づくりにつながりますね。

愛情たっぷりの手作り昼食、美味しいね

「老若男女　気にかけあって」（南区）

若いお父さん、お母さん、子供達も参加で楽しそうです

毎回地区の健康づくり運動サポーターの指導で元気に体をほぐしながら体操をしています。その後、おりがみを使い、小物入れを作りました。「綺麗に出来たね」「指先の運動にもなったね」と皆さん、とても喜んでいました。

子供から大人まで、同じ事に夢中になり、会話も弾み、素敵な地域のつながりづくりですね。

仲良く作り方すっぺし

「地域交流は、笑顔から」（北区）

華麗な踊りに
うっとりです

川門さんは、北区出身で、小さな頃からお世話になった地域への恩返しのつもりで踊りを披露しました。「子供の頃から知ってるけど、こんなに感動をくれるなんてありがたいねぇ～、来年も来てね。また会えるように、皆で元気でいなくちゃね‼」と笑顔で楽しく過ごしました。

皆で笑い合うことや次の機会にも参加したいという気持ちや、やる気は介護予防につながります。

「元気の秘訣は、何かな」（町区）

太平地区のボランティア
さんにも来ていただきま
した

踊りや手品を観賞したり、皆さん、毎回、行事開催日を楽しみにしています。

地区の健康づくり運動サポーターと元気に体操をしてから行事を始めています。

「体操をした後は、体がとっても軽くなったねぇ」とお互いに顔を見合わせながら笑顔で話していました。

７月からは、毎週水曜日に「くりはら元気アップ体操」も取り組んでいます。

健康でいきいきした生活を送るために、皆で意欲的に参加することで、健康を維持することにつながります。

こんにちは！

志波姫地区 生活支援コーディネーターの 千葉優子 です。

生活支援コーディネーターとして、半年が過ぎようとしています。

隣近所で自然に行われている「見守り」「お茶っこ会」「ちょっとしたお手伝い」など、地域には、支え合いの活動が沢山ありました。

これからも「おたがいさま」の活動を教えてください‼

どんなお宝が発見できるか楽しみです‼